

会報

【第35号】

NPO法人
コミュニティ時津
COMMUNITY TOGITU

平成25年1月発行

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。カンボジアを訪問し始めて9年、回数にしてわずか9回ですが、年数が経つと街並みの変遷も見えてきます。周辺に立派なホテルが建ち並ぶようになりました。首都プノンペンに物乞(ご)いが少なくなりました。当時、道路を走るバイクや車にはほとんどナンバープレートが付いていませんでしたが、今は9割ぐらいの車に付いています。当時は無管理のようでした。

ここ数年、カンボジアへは、タイとの国境を歩いて越えていますが、昨年この国境で普段見られない光景に遭遇しました。「Police」と書いたトラックの格子に囲まれた荷台から40人から50人ぐらいの人が別のトラックに乗り移っていました。ガイドに聞くと「タイからカンボジアへの強制送還だろう」という。一団には幼子や小学生ぐらいの子も乗っていました。土地も仕事も金もない貧しい人たちのタイへの出稼ぎ労働者でしょう。この子たちは学校にも行けず、教育を受けていない子どもたちです。

日本や世界のNGOの支援で、田舎の学校も雨漏りがするような朽ちかけた草葺(ぶき)の掘っ建て小屋から、南国独特のカラフルな校舎に変わりつつあります。しかし、先生の質や数、教育内容、各家庭、地域の教育に対する意識を含め、カンボジアの教育の充実はこれからです。

今回は、カンボジアの教育支援に取り組むロータリークラブからの支援金を携えて、初めてプノンペンの教員養成所を訪問しました。各地から難関を突破して選ばれた人たちが誇りを持って勉強をしていました。

ノリア孤児院ではお坊さんの運営、指導で約70人の子どもたちが、米や野菜栽培で自給自足の生活をしながら勉強しています。外国に留学し勉強したいという子もいます。この子たちがやがてカンボジアを豊かな国に変えていく原動力になるでしょう。

昨年は世界各地で政権が変わりました。先進ヨーロッパ諸国、アメリカなど、各国で経済格差の広がりが問題になっています。これも“投票率の低さや無関心”などに原因があるように思えます。どのような社会、国造りを進めるか？世界各国が、混沌(とん)とした現状をどう打開するかを模索しているように見えます。

コミュニティ時津も創立から丸9年。今年10年を迎えます。10年は大きな節目です。会員も歳を取りました。今年は役員任期満了の年でもあります。事業内容や体制も社会のニーズに合わせた進化が必要でしょう。世界的な環境問題、国際支援などNPOの活動に対する期待は強くなっています。一層のご協力をお願いいたします。

末筆ながら会員並びにご協力いただいている皆さまのご健康を祈念いたします。

(理事長 青山泰)

活動報告(平成24年10月～12月)

内 容

- ✚ 時津川のごみ拾い
 - * 過去2年 雨にたたられ3年ぶりのごみ拾い(約60人が参加)

- ✚ パソコン教室の開催(社協委託事業)
 - * 60歳以上の初心者17人が参加(時津町福祉センター)

- ✚ カンボジア支援訪問
 - * 大学生を含む7人で訪問(11月5日～11日)
 - * 自立支援 縫製技術訓練も熱心、豚も順調に育つ
 - * 大学生訪問者の感想文(福岡大学4年生 山田 健太郎)
～卒業前のカンボジア訪問は、私にとって実りあるものでした～

- ✚ 環境及び地球温暖化防止啓発活動
 - * 長与南小学校4年生の「総合的な学習」に参加
 - * 夏の節電コンテスト表彰式
～最優秀賞は、昨年同月比69%削減。市町対抗部門総削減量トップは五島市～
 - * 冬季 ながさき節電コンテスト参加者募集

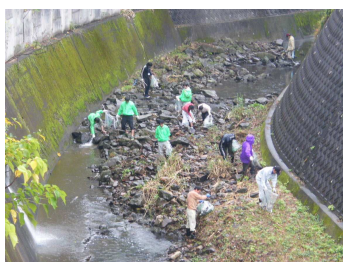
- ✚ 協働事業
 - * 放課後子ども教室“とぎつ いただきますクッキング教室”
～雨とにらめっこの野外収穫体験～

- ✚ ホームページ掲載記事リスト

活 動 の 詳 細

★ 時津川のごみ拾い

*** 過去2年 雨にたたられ3年ぶりのごみ拾い(約60人が参加)**



時津川のごみ拾い

10月27日(土)、
時津川(全長約2km)
のごみ拾いを行なっ
た。

昨年と一昨年、2

年連続して雨天中止になったため、前日から
の雨で今年も中止かと気をもんだが、小雨の
中で早めに作業をやめたものの、予定した範
囲のごみ拾いは終わらせることができた。

時津町役場職員や大村湾漁業協同組合、西

そのぎ商工会、十八銀行、親和銀行、ケンコーホーム、地域の自治会などから約60人が参加。特に今回は古川橋の架け替え工事（平成27年完成）を行なっている別所組や子ども連

れ、女子高校生とその友達（町外）の参加があるなど、幅広い層からの参加があった。回収したごみは210キログラム。

ご協力ありがとうございました！

★ パソコン教室（社協委託事業）

* 60歳以上の初心者17人が受講（時津町総合福祉センター）



パソコン教室の様子

時津町社会福祉協議会からの委託事業「やさしいパソコン教室」（年賀状づくり）は、60歳以上の初心者を対象に、11月2日（月）にスタートし、12月7日（金）に終了した。

自分のパソコンを持ち込み、10回コースの講座（1回2時間）に、時津町在住の17人（最高齢者は80歳）が参加。

受講の動機は「これまで我流でやってきたので、基本を習いたくて来た」「パソコンを

触ったこともなかったので、習いに来た」「子どもに習っていたが、面倒くさがり、思うように教えてくれない」「娘が申し込み参加した」など、受講の動機はさまざまながら、最終日には出来上がった年賀状を他の人に見せ、お互いに批評し合い満足していた。

「受講して良かった」「まだまだ習いたいことがある」「これを機会にパソコンを使う」など、受講者によってスキルの達成度や受け止め方の違いはあるが「パソコンを使う（親しむ）高齢者を増やす」という主催者（社協）の目的は達成できた。

★ カンボジア支援訪問

* 大学生を含む7人で訪問 11月5日（月）～11日（日）

今回はバタンバン州やプノンペン小学校、孤児院、貧村地区、ヘルスセンターなどを訪問しました。支援訪問団のメンバーは、当法人会員4人（友岡、迫野、太田、青山）と大学生3人（江口、平井、山田）の総勢7人。

～カンボジア貧困層の自立支援～

縫製技術訓練も熱心、豚も順調に育っていました



縫製技術訓練

バタンバン州プレアプット村では当法人の資金援助で設けられた縫製技術訓練所（村の村長さん宅）の様子を視察しました。15歳から50歳代

までの貧困層の女性が食を忘れて縫製技術訓練に取り組んでいました。訓練期間が終わる1年後には、町の縫製工場で働くなどして、縫製作業で家計を支える仕事をしたいと言っていました。

バタンバンに事務所を置くNGOと一緒に私たちが取り組んでいるものに、豚の飼育支援があります。ある貧困家庭では、私たちが

提供した 1 頭の子豚を育てた販売益で子豚 6 頭を購入し、飼育していました。また、小学校教師による養豚も子豚 6 頭が順調に育っていました。養豚支援も豚算?的に増えていきそうです。



豚の飼育 頭数も増えている

隣村の学校も教員宿舎に電気がなく、陽が沈むと真っ暗。某支援グループが資金援助して取り付けたソーラーパネルによる照明を視察。先生は夜も勉強や学校の事務作業ができると喜びの笑みを返してくれました。



衣類や文房具をプレゼント

一方、日本から事前に船便で送った物資や訪問者一行が持ち込んだ物資で支援もしてきました。時津小学校 JRC 委員会のメンバーが呼び掛けて集めた衣類、文房具、本、学校の様子を紹介した絵手紙を添えてプレアプット小学校の子どもたちにプレゼントしました。

ユニークなところでは、時津町浦郷の、胸に「北」と書いたペーロンチームの真っ赤な

ユニホームと、某支援団体が贈ったサッカーシューズ、ソックスで孤児院の真っ赤なサッカーチームが誕生しました。子どもたちはユニホームを身に着けて、ポーズをつくり満面の喜びを浮かべていました。



ペーロンのお下がりを
着てポーズを取る

その後のノリア孤児院からのメール連絡によると、後日開催された試合では、相手チームも真っ赤なユニホームで、審判泣かせの試合だったそうです。そしてその試合も負けて連敗記録を更新中です。自給自足の農作業で鍛えた子どもたち、きっとそのうちに・・・。

このほかバットンバンでは、ヘルスセンターや孤児院のソーラーパネル照明の修繕、増設を行いました。プノンペンでは、毎年訪問する「礎の石」孤児院に食料、調味料などを贈呈。ケジュールいっぱいの活動を終えて帰ってきました。

貧困地域、貧困層自立支援は緒に就いた感がありますが、これも日々皆さまのご支援ご協力の賜ものと感謝しています。

* 大学生訪問者の感想文

大学生訪問者の 1 人、福大生山田君に感想を寄せてもらいました。ほかの 2 人（江口さん、平井さん）の感想文は、コミュニティ時津のブログに掲載しておりますのでご覧ください。

～卒業前のカンボジア訪問は、私にとって実りあるものでした～

こんにちは！私は、福岡大学経済学部産業



カンボジアの友人と山田君(右)

経済学科 4 年の山田健太郎です。11 月に訪問させていただいたカンボジアで出会った友人

のことを書きたいと思います。

彼は、カンボジア第 2 の都市であるバットンバンという街の郊外にあるノリア孤児院に住む 20 歳の成年です。クメール語と英語、日本語の 3 カ国語を話せ、とても素直で明るい少年です。私はこのノリア孤児院に 2 泊しましたが、クメール語も英語も全然話せない私のために一生懸命日本語で話し掛けてくれま

した。彼は広島大学へホームステイで来日したことがあり、とても日本へ興味を持っています。「日本の大学へ行きたい。日本の大学で農業を学びたい。でも、お金がない」と日本語で言いました。

私は、彼とインターネットの face book を通して、連絡を取り続けています。勉強に対する想いはすごく熱いです。

私たち日本人の大学生はただ大学で、受け身で授業を聞き、テストを受け、就職活動をして卒業していきます。大学で学ぶということを経験せずに、大学へ通っています。今回のカンボジア訪問で、彼と話せたことが私にとっ

て一番刺激になりました。大学へ行きたいけど行けない人が居る。その想いを聞き、私の学生生活は何だろうと反省しました。

今回の訪問は、私の人生にとって本当に大きな経験になりました。同じ空の下で一生懸命頑張っている友人が居る、そう思うと自分も頑張ろうと思うようになりました。この経験をもとに、1人の社会人として、4月より故郷長崎で頑張りたいと思います。

今回の訪問で、お世話になった皆さま、ご支援くださいました皆さま、本当にありがとうございました。

山田健太郎

★ 環境及び地球温暖化防止 啓発活動

* 長与南小学校 4 年生「総合的な学習」に参加

11月19日(月)、長与南小学校(児童数882



4年4組の教室で学習会

人、一瀬 薫校長) 4年生(166人)の総合的な学習の一環で実施された「レッツ・ボラン

ティア」(ボランティア体験をしよう!)という授業に、長与町の6つのボランティアグループ(手話、風船バレー、要約筆記、生き生きサロン、お茶、エコ長与)が参加した。

2回に分けて行われた授業の第1回目は、各児童が3つのグループの活動概要(1グループ15分)を聞いて、「自分が体験したい」または「さらに学習したい」と思ったグループを選び、2回目の学習では、自分で選んだグループの話聞き、体験をし「ボランティア活動を知る」という学習。

「エコ長与」(当法人会員らのグループ)のプレゼンテーションは、地球温暖化防止の啓発活動として実践している「出前講座」の手法やツールについて紹介した。

11月27日(火)、2回目の「ボランティアを体験しよう」では、児童が6つのグループに分かれて学習した。

「エコ長与」の学習には27人の児童が参加し、教室に入ると歓迎ムードいっぱい、黒板には歓迎の文字や絵、飾り付けがされていた。はじめの会では、児童から歓迎のことばをいただいた。終わりの会では、全員でリーダーの演奏とお礼のことば、手作りの記念品(お土産)を頂いた。

ボランティア体験(70分)では、「エコ長与」の3人(伊豫田と田窪、サポートに河島夏海さん)が、「出前講座」で行う啓発活動を

そのまま子どもたちに紹介した。

まず、今日のテーマに興味を持たせるための導入教育を人形劇で行なった後、伊豫田さん手作りの掛図を使って温暖化防止の話をした。次に児童を5班に分け、「エコかるた」で遊びながらエコ生活のヒントを学んだ。

児童は終始真剣な表情で熱心に聞き「エコかるた」にも楽しく取り組んだ。

最後に「お家では環境大臣になって、今日

学んだことを率先して実行し、家族の人を指



「エコかるた」を楽しむ

導してください」と結んだが、子どもたちの表情から「温暖化防止のために、何かをやらねばという気持ちやボラン

ティア活動に興味を持てた」というのが伝わってきた。

* 夏の節電コンテスト表彰式

～最優秀賞は、昨年同月比69%削減。市町対抗部門総削減量トップは五島市～



表彰式の様子

12月15日(土)、長崎市図書館 新興善メモリアルホールで、12月の地球温暖化防止月間中の

取り組みとして「みんなで省エネについて考えよう」という催しが開催され、夏のながさき節電コンテスト(取り組み期間7月～9月)の表彰式と講師に宮原美智子氏(熊本県地球温暖化対策センター理事長)を迎え、「省エネライフは、カシコイ生活」を演題に基調講演があった。

悪天候の中43人が参加し、午後1時半から主催者あいさつと来賓あいさつ。1時40分から表彰式。2時半から基調講演があつて3時半に閉会した。

夏の節電コンテストの参加世帯数は965世帯(昨年夏は約500世帯)。

個人部門の最優秀賞は、昨年同月より69%削減した平戸市の山崎 省三さん。優秀賞は2人で、50%削減した長崎市の古田良子さんと

佐世保市の月川 聡子さん。市町対抗部門は、総削減量のトップが五島市で3,469Kwh削減。削減率トップは平戸市で28.7%削減。受賞者紹介で「五島市の35世帯での総削減量トップは立派」という話もあった。

個人部門で受賞した方々は、前年同月比で使用量を半減(以上)されており、どのような対策を講じたかに興味があったが「エアコンの故障を機にコンセントを抜いて使わなかった」「テレビは興味ある番組がないので見ないことにした」「地デジに移行した時に、テレビを更新せずに、テレビを見ない生活ができるかやってみたが、何の不自由も感じず生活できている」「窓を開けっ放しにして風通しを良くして過ごした」など、参考になる体験話があった。

基調講演では、主婦目線から省エネに取り組んだきっかけやなぜ省エネが必要か、身近にできること、家電製品の省エネについて、エネルギーの地産地消(再生可能な自然エネルギーの活用)などについての話があった。

*冬季“ながさき節電コンテスト”参加者募集

冬の節電コンテストが開催されます。応募用紙に必要事項を記入の上、平成25年1月の検針票（コピー可）を張り付け、2月28日までに提出してください。

夏のコンテストに参加されなかった方も、今回はぜひ参加されるようお願いいたします。

コンテストの詳細は、当法人のホームページをご覧ください。なお、応募用紙の必要の方は田窪に申し出てください。参加申し込みは個人でもいいし、田窪がまとめて提出することもできます。不明な点があれば田窪に、お問い合わせください。（電話：095-882-1379）

協働事業

★ 放課後 子ども教室

“とぎつ いただきますクッキング教室”

10月から12月に実施したクッキング教室は、毎週土曜日のエコ料理教室8回（校區別4教室を各2回）と4教室合同の野外での収穫体験を1回実施した。この間、当法人の会員や長大生、外大生など世話役のスタッフは延べ90人。

大学生スタッフには福岡、鹿児島、佐賀など県外出身者も多い。中でも長崎外国語大学の留学生が参加するようになって、教室の雰囲気是一段とにぎやかになった。

～雨とにらめっこの野外収穫体験教室～



中山菜園で収穫体験

12月17日（土）は中山菜園での収穫体験の日。週間天気予報では雨。雨天中止の場合は、次週実施にしていたものの、その日は、菜園近くの中山ダム周辺で町内外の陸上クラブなどが参加して行う「時津町小学生駅伝大会」も計画されており、混雑が予想されることから、できれば延期はしなかった。

1週間前から好天を祈りつつネットの天気予報に注目し、3時間置きに時津町内のスポット予報に釘付け。残念ながら前日になって

も、当日は午前中雨、昼ごろには上がるでしょうという予報。ネット天気予報は正確？

これを受け、午前の前半を室内学習、後半を収穫体験に変更した。この策が的中し、雨に濡れることなく実施することができた。野外イベントは、雨が降らなければ成功したようなもの。子どもの参加が65人、スタッフ23人。子どもたちは歓声を上げながら野菜の収穫を体験した。収穫した野菜は、サツマイモ、ジャガイモ、ダイコン。

ダイコン1本とジャガイモ数個を土産に持ち帰った。土産のダイコンとジャガイモが家庭での会話に味を付けたに違いない。

当面の予定

* 時津港周辺のごみ拾い 3月中旬過ぎに実施予定です。日時決定次第ご連絡します。

★ ホームページ掲載記事リスト（10月～12月 ホームページ 17件 ブログ 19件）




情報満載のホームページも開いてみよう！

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 冬の節電コンテスト参加者募集 | 10.時津川のごみ拾い |
| 2. ながさき夏の節電コンテスト表彰式 | 11.平成 24 年度 元村秋まつり |
| 3. 12月のクッキング教室／福祉センター教室 | 12.10月のクッキング教室／東部コミセン教室 |
| 4. パソコン教室終わる（社協委託事業） | 13.10月のクッキング教室／時津小教室 |
| 5. 第2回長与南小4年生「総合的な学習」 | 14.町民体育祭（長崎県 時津町） |
| 6. 元村1自治会の防災体験学習 | 15.10月のクッキング教室／北部コミセン教室 |
| 7. 第1回長与南小4年生「総合的な学習」 | 16.2012 第41回時津町文化祭 |
| 8. “いただきますクッキング教室”収穫体験 | 17.コミュニティ時津 会報 34号 |
| 9. パソコン教室始まる（社協委託事業） | |

ホームページアドレス：<http://www.togitu.org>

ブログ：<http://togitu.blog65.fc2.com/>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。

《ブログ入口  》という表示があります、をクリックすると開きます。

★ 会員の皆さんへ

平成24年度（平成25年3月まで）の年会費は、お近くの理事にお渡しいただくか、下記預金口座への振り込みをお願いいたします。

年会費は年度初めに納入くださるようお願いいたします。

十八銀行時津支店	普通 1 9 1 9 7 3	} 口座名：
親和銀行時津支店	普通 2 5 7 5 9 1 9	

 NPO 法人
コミュニティ時津

発行元：NPO 法人 コミュニティ時津 事務局
〒851-2105 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 46 番地 22
TEL/FAX：095-840-2140 e-mail info@togitu.org
URL <http://www.togitu.org>